



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 ディップ株式会社

コード番号 2379 URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 大谷 栄一 (TEL) 03(5114)1177

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	5,188	22.1	△73	—	△95	—	△66	—
23年2月期第2四半期	4,247	4.5	△174	—	△200	—	△180	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	△585.79	—
23年2月期第2四半期	△1,577.07	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	6,320	3,166	50.1	27,728.41
23年2月期	6,247	3,324	53.2	29,114.21

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 3,166百万円 23年2月期 3,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0.00	—	800.00	800.00
24年2月期	—	0.00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注) 当四半期における配当予想の修正の有無 : 有・ 無

3. 平成24年2月期の業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	34.4	600	184.7	500	197.9	300	—	2,627.22

(注) 当四半期における業績予想の修正の有無 : 有・ 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】3 ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・ 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年2月期2Q	123,620株	23年2月期	123,620株
② 期末自己株式数	24年2月期2Q	9,431株	23年2月期	9,431株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年2月期2Q	114,189株	23年2月期2Q	114,179株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(第2四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みから、サプライチェーン復旧に伴い生産が持ち直すなど、一部で回復の兆しが見られるものの、電力供給の制約や原材料価格の高止まり、さらに海外経済の減速懸念や急激な円高の進行など依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢につきましては、この度の震災の影響により完全失業率、有効求人倍率ともに、大幅な改善は見られず、悪化懸念は依然として残っている状況にあります。

このような環境のなか、当社はバイトルドットコム、はたらこねっと、ナースではたらこの主要3サイトにおいて、新たなTVCFを大都市圏で放映し、ユーザー基盤の強化を図ってまいりました。また、主力事業のバイトルドットコムにおいて、7月に大規模なリニューアルを実施し、販売強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は51億88百万円（前年同四半期比22.1%増）となりました。

営業損益及び経常損益につきましては、広告宣伝費及び代理店・地方提携会社の売上拡大に伴う代理店手数料・販売促進費等の増加により、営業損失は73百万円（前年同四半期は営業損失1億74百万円）、経常損失は95百万円（前年同四半期は経常損失2億円）となりました。四半期純損失は66百万円（前年同四半期は四半期純損失1億80百万円）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①バイトルドットコム

バイトルドットコムにおきましては、7月のサイトリニューアルにより地図機能を充実させ、ユーザーの生活圏でのアルバイト探しの利便性の向上を図るとともに、積極的なプロモーションを実施し、ユーザー基盤の強化及びさらなるシェア拡大に努めてまいりました。また、代理店・地方提携会社の売上も順調に推移いたしました。

これにより、当セグメントにおける売上高は39億17百万円、セグメント利益は5億14百万円となりました。

②はたらこねっと

はたらこねっとにおきましては、スマートフォン端末普及の急拡大に対応し、7月にAndroid[™]アプリ、8月にiPhoneアプリを開発・提供し、新たなユーザーの獲得及び利便性の向上に努めてまいりました。さらに、3年半振りとなるTVCFの放映により、認知度の向上に取り組んでまいりました。

しかしながら、企業の派遣需要の減少に伴うスタッフ募集ニーズの低迷が継続いたしました。これにより、当セグメントにおける売上高は5億34百万円、セグメント利益は1億67百万円となりました。

一方で、一部地域・業種においては復調傾向が見られることから、底打ちの兆しが出始めております。

③ナースではたらこ

ナースではたらこにおきましては、看護師と親和性の高い医療系ドラマへの番組提供や、看護師向け専門誌への広告出稿を実施し登録者の拡大を図ってまいりました。また、登録者の増加に対応し、キャリアアドバイザー体制を強化することにより決定者数の増加を図り、業績拡大に取り組んでまいりました。

これにより、当セグメントにおける売上高は5億64百万円、セグメント損失は2億12百万円となりました。

④ジョブエンジン

ジョブエンジンにおきましては、経営資源をアルバイト・パート領域及び看護師紹介事業へ振り向けることに伴い最小限のリソースで効率的に事業を運営してまいりました。

これにより、当セグメントにおける売上高は1億62百万円、セグメント利益は21百万円となりました。

⑤その他

当セグメントにおきましては、バイトルドットコムの飲食店顧客向けサービスによる売上高は10百万円、セグメント利益は10百万円となりました。

（注）「iPhone」は、Apple Inc.の商標です。また、「Android」はGoogle Inc.の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末と比較し72百万円増加し、63億20百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加4億32百万円、売掛金の減少5億18百万円、ソフトウェアの増加1億51百万円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し2億30百万円増加し、31億53百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加10億円、前受収益の減少4億90百万円及び長期借入金の減少2億74百万円によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し1億58百万円減少し、31億66百万円となりました。これは利益剰余金の減少1億58百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末と比較し4億32百万円増加し、21億円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は2億5百万円（前年同四半期比1億43百万円の増加）となりました。これは主に売上債権の減少5億56百万円、仕入債務の増加23百万円、減価償却費2億14百万円が税引前四半期純損失97百万円、前受収益の減少4億90百万円を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は4億8百万円（前年同四半期比1億35百万円の増加）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出3億58百万円、敷金及び保証金の差入による支出24百万円、有形固定資産の取得による支出25百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は6億35百万円（前年同四半期は2億47百万円の使用）となりました。これは短期借入金の純増加額10億円が長期借入金の返済による支出2億74百万円、配当金の支払額90百万円を上回ったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,100,717	1,668,023
売掛金	1,480,705	1,999,608
仕掛品	2,734	4,232
その他	443,941	624,698
貸倒引当金	△105,503	△80,875
流動資産合計	3,922,594	4,215,688
固定資産		
有形固定資産	319,844	330,874
無形固定資産		
ソフトウェア	1,215,987	1,064,478
その他	189,991	167,500
無形固定資産合計	1,405,978	1,231,978
投資その他の資産		
その他	491,177	522,638
貸倒引当金	△16,197	△53,339
投資その他の資産合計	474,979	469,299
固定資産合計	2,200,803	2,032,152
繰延資産		
開発費	196,825	—
繰延資産合計	196,825	—
資産合計	6,320,223	6,247,840
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,494	161,808
短期借入金	1,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	548,800	548,800
前受収益	—	584,371
その他	722,848	657,138
流動負債合計	2,457,143	1,952,118
固定負債		
長期借入金	696,100	970,500
その他	700	700
固定負債合計	696,800	971,200
負債合計	3,153,943	2,923,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,081,200	1,081,200
資本剰余金	1,131,709	1,131,709
利益剰余金	1,325,499	1,483,741
自己株式	△372,128	△372,128
株主資本合計	3,166,279	3,324,522
純資産合計	3,166,279	3,324,522
負債純資産合計	6,320,223	6,247,840

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	4,247,733	5,188,094
売上原価	577,987	869,033
売上総利益	3,669,746	4,319,060
販売費及び一般管理費	3,844,590	4,393,052
営業損失(△)	△174,844	△73,991
営業外収益		
受取利息	823	201
消費税等調整額	—	3,312
その他	7,593	3,887
営業外収益合計	8,416	7,401
営業外費用		
支払利息	10,065	11,949
シンジケートローン手数料	21,116	16,185
その他	3,329	326
営業外費用合計	34,511	28,461
経常損失(△)	△200,938	△95,050
特別損失		
固定資産除却損	31,365	2,318
固定資産売却損	—	444
中途解約損害金	883	—
原状回復費	32,749	—
特別損失合計	64,998	2,763
税引前四半期純損失(△)	△265,937	△97,814
法人税、住民税及び事業税	5,110	6,430
法人税等調整額	△90,979	△37,353
法人税等合計	△85,868	△30,922
四半期純損失(△)	△180,068	△66,891

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	2,157,286	2,610,465
売上原価	315,701	479,263
売上総利益	1,841,585	2,131,201
販売費及び一般管理費	2,065,421	2,239,469
営業損失(△)	△223,835	△108,268
営業外収益		
受取利息	456	156
消費税等調整額	—	1,470
未払配当金除斥益	—	1,025
その他	5,154	1,786
営業外収益合計	5,610	4,439
営業外費用		
支払利息	4,879	5,952
シンジケートローン手数料	8,622	8,020
その他	1,246	151
営業外費用合計	14,749	14,124
経常損失(△)	△232,974	△117,952
特別損失		
固定資産除却損	30,857	2,318
固定資産売却損	—	444
中途解約損害金	883	—
原状回復費	30,849	—
特別損失合計	62,590	2,763
税引前四半期純損失(△)	△295,565	△120,716
法人税、住民税及び事業税	2,511	3,835
法人税等調整額	△111,472	△48,423
法人税等合計	△108,961	△44,587
四半期純損失(△)	△186,603	△76,128

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△265,937	△97,814
減価償却費	179,407	214,616
のれん償却額	36,269	—
繰延資産償却額	—	31,746
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,528	△12,513
受取利息及び受取配当金	△823	△201
支払利息	10,065	11,949
シンジケートローン手数料	21,116	16,185
固定資産除却損	31,365	2,318
原状回復費	32,749	—
中途解約損害金	883	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,069	556,044
仕入債務の増減額(△は減少)	6,768	23,686
前受収益の増減額(△は減少)	△95,163	△490,449
その他の資産の増減額(△は増加)	38,253	14,745
その他の負債の増減額(△は減少)	70,755	△11,201
その他	15,884	△19,009
小計	84,053	240,104
利息及び配当金の受取額	823	201
利息の支払額	△9,602	△11,021
シンジケートローン手数料の支払額	△4,487	△4,443
中途解約損害金の支払額	△883	—
原状回復費の支払額	△3,099	—
法人税等の支払額	△5,184	△19,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,618	205,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,121	△25,665
無形固定資産の取得による支出	△265,747	△358,670
敷金及び保証金の差入による支出	—	△24,789
敷金及び保証金の回収による収入	17,457	629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273,410	△408,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,000,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△257,700	△274,400
株式の発行による収入	600	—
配当金の支払額	△90,585	△90,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247,685	635,578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△459,477	432,693
現金及び現金同等物の期首残高	2,692,686	1,668,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,233,209	2,100,717

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、インターネットを利用した求人情報の提供と人材紹介事業を主たる事業としており、提供する求人情報サービスの属性から「バイトルドットコム」、「はたらこねっと」、「ナースではたらこ」、「ジョブエンジン」を報告セグメントとしております。

「バイトルドットコム」はアルバイト求人情報を、「はたらこねっと」は派遣求人情報を、「ジョブエンジン」は正社員求人情報を取扱うサイトをそれぞれ運営しており、「ナースではたらこ」につきましては看護師・準看護師に特化した人材紹介事業を運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	バイトル ドットコム	はたらこ ねっと	ナースで はたらこ	ジョブ エンジン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,917,049	534,284	564,497	162,021	5,177,851	10,242	5,188,094	—	5,188,094
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,917,049	534,284	564,497	162,021	5,177,851	10,242	5,188,094	—	5,188,094
セグメント利益 又は損失 (△)	514,543	167,266	△212,782	21,689	490,716	10,242	500,958	△574,950	△73,991

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイトルドットコムの飲食店顧客向けサービスによるものです。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△574,950千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。